

8月例会 安達太良山(1699.7m 二等三角点) 磐梯山(1816.2m 三等三角点)

実施日 平成28年8月22日(乗込)、23日(安達太良山)、24日(磐梯山)

天候 8月23日 薄曇り時々晴れ・午後一時雨 8月24日 曇り

参加者 CL角原^覚 SL佐藤[△] 角原^鶴 森田^清 岡野
岩田[△] 高木^唱× 桑野^洋△ 小林^陽 小倉 船越 近藤^嗣 桑野^敏× 小林^宮△ 丹治[×] 西崎[△] 高木^祐×
藤川^豊 藤川^神 佐々木^順△ 高井[△] 梶原 (22名)

注) 無印・磐梯山縦走コース △磐梯山ピストンコース ×磐梯山不参加

なお、磐梯山登山途中に佐藤SLが体調を崩され、同行して頂いた桑野理事長とは弘法清水までのピストン

行程 23日 宿(8:00)⇒ Gondola乗場(8:10-8:30)⇒ Gondola山頂駅(8:45-8:55)⇒ 仙女平分岐(9:40)
安達太良山頂[10:30-11:05(乳首 10:45-10:55)]⇒ 船明神分岐(11:20)⇒ 船明神山(11:40-12:10 昼食)⇒
障子ヶ岩(13:40頃)⇒ 湯の花分岐(15:00)⇒ 沼尻登山口(15:40)⇒ 沼尻スキー場(16:20-16:50)
⇒ 宿(17:20)

24日 宿(7:00)⇒ 八方台登山口(7:45-8:05)⇒ 中ノ湯跡(8:35)⇒ 弘法清水(10:05-10:15)⇒ 磐梯山
頂(10:55-11:05)⇒ 弘法清水(11:30-12:05 昼食後ピストン組は八方台へ*)⇒ 渋谷口分岐(12:35)⇒
鏡ヶ池付近(12:45-12:55)⇒ 赤埴山分岐(13:05)⇒ 天の庭(13:20-13:30)⇒ 猪苗代登山口(15:00)⇒ 宿(15:20)
(*ピストン組) 弘法清水(11:40-12:15)⇒ 中ノ湯跡(13:40-13:50)⇒ 八方台登山口(14:20-14:30)
⇒ 宿(15:00)

概要 今回の夏山登山は、現地集合・小雨決行の前提で計画した。実施日の数日前から、台風9号の影響が懸念される状況になってきたが、関東地方に上陸予想の台風9号は、登山予定日には北海道辺りまで進む予報が出され、台風一過後の天候回復を期待して、例会を決行することとした。22日の現地乗り込み日には、台風の影響で午後3時あたりから、東北本線在来線が終日運休となったが、乗り継ぎ便の変更等により、なんとか全員が郡山駅まで到着することができた。郡山駅から二本松駅はJRが運休のため、宿のマイクロバスに迎えに来て頂いた。

(安達太良山登山)

奥岳登山口の Gondolaリフト乗り場前まで宿のマイクロバスで送って頂き、そこから標高1340mの地点まで、約400mの高低差を一気に Gondolaリフトで運び上げてもらう。そこからは比較的なだらかな登山道を登って行く。登山道の周りの灌木帯にはシャクナゲが目立つ。途中、登山訓練中の大勢の自衛隊員たちに道を譲りながら登って行くと、安達太良山山頂(乳首)直下に到着。そこからは溶岩ドームの岩場をひと登りで山頂の乳首に到達した。乳首ではシニア山ガール会員の、たつての希望で、若い自衛隊員たちと記念写真を撮らせて頂く。牛ノ背を過ぎ、船明神山への分岐地点まで来ると、荒涼とした月のクレーターのような、火口の沼ノ平が見えてくる。船明神山を過ぎた辺りには、岩稜部を巻きながら岩場を急降下する箇所などもあり、思ったよりハードなルートである。途中、雲の切れ目から磐梯山の秀峰を望むことが出来た。障子ヶ岩を過ぎた辺りから、登山道が急勾配になり下山に時間がかかる。午後3時少し前あたりから、雨が降り出し30分ほど続いた。沼尻登山口から沼尻スキー場広場までは長い林道歩きである。スキー場からは宿のマイクロバスで猪苗代町の宿に到着した。



山頂(乳首)間近



(磐梯山登山)

磐梯山登山については、会員の帰りの時間の都合や各自の体調等を考慮し、計画通りの縦走コースとピストンコースに分けて実施した。弘法清水小屋までは同一の行程である。

八方台登山口からブナ林の中の広い登山道を進む。湿度が非常に高く、ジワリと汗が滲み出てくる。30分程で中ノ湯跡に到着。ここは廃屋となった温泉跡である。その少し先の湿地には、わが山の会の名前でもある、みつがしわが自生しており、なんとなく嬉しくなった。ここからは登山道も少し陰しくなり、しっかり汗をかいて弘法清水小屋に到着。弘法大師が杖でつつくと水が湧き出したとの伝説が残る、ありがたい弘法清水で喉を潤し、英気を養う。暫く休憩の後、岩がゴロゴロした急勾配の登山道を、頂上に向け登っていく。ようやく、岩がゴロゴロとした頂上に到着。ガスで眺望は利かない。記念撮影を済ませ、早速、弘法清水小屋まで下山する。

ここで昼食後、ピストン組は縦走組と別れ、お花畑と呼ばれている場所を通って、往路の登山道に合流し八方台登山口へ。15時頃に宿に到着し、ここで現地解散とした。

縦走組は猪苗代登山口を目指して進む。残念ながら沼ノ平はガスで景色が望めない。天の庭（一合目）を過ぎ、猪苗代スキー場の中の長い道のりを進む。午後3時に猪苗代登山口に到着。午後3時半前には宿に到着した。

なお、オプションとして10名ほどが参加した、翌日の西吾妻山についても、好天の中、無事登頂できたことを記しておきます。（森田清吾 記）



ウスユキソウ



8月例会 磐梯山（1816.2m三等三角点）2016.8.24



22日台風の中、なんとか宿に到着